

第4期 神戸市教育振興基本計画

～自他を大切に 自ら考え 未来をつくる～

2024年4月

神戸市教育委員会

I 概要

1 策定の趣旨

少子高齢化や人口減少、共働き世帯の増加、急速な技術革新の進展やグローバル化など、社会状況の変化はますます激しさを増すとともに、いじめや不登校、特別な支援を要する児童生徒、外国人児童生徒の増加など、学校を取り巻く状況も大きく変化しています。

また、教職員の多忙化・教職員のなり手不足は、本市においても大きな課題であり、子供たちに質の高い教育を提供していくためには、働き方改革を一層進め、教職員が子供たちと向き合い、寄り添うための時間を確保していく必要があります。

こうした現状や課題、国や社会の動向等を踏まえ、今後5年間、神戸の教育が目指すべき方向性を明らかにするため、第4期神戸市教育振興基本計画を策定します。

本計画の策定にあたっては、学識経験者や有識者、保護者、地域関係者の参画による「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」や、児童生徒・保護者アンケートにおいて、様々なご意見をいただき検討を重ねました。

神戸市教育大綱及び第3期神戸市教育振興基本計画のもとで進めてきた取組みをさらに発展させ、保護者をはじめ市民の皆様と手を携え、神戸の教育を推進していきます。

2 計画期間

令和6（2024）年度から令和10（2028）年度

3 計画の位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体の定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画」であり、市政の総合計画である「神戸市総合基本計画」の部門別計画です。

II 計画内容



1 目指す人間像

心豊かに たくましく生きる人間

次代を担う子供が、よりよい社会と幸福な人生を自らつくり出していくためには、自他を尊重し、互いに知恵を出し合って困難な課題を解決していくことが重要です。

それには、確かな学力、健康・体力とともに、様々な体験を通して豊かな心を養い、自ら目標に向かってたくましく生きる力を育む必要があります。

これらを踏まえ、本計画においても引き続き「心豊かに たくましく生きる人間」を神戸の教育が目指す人間像として掲げます。

2 教育ビジョン

自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

変化が激しく予測困難なこれからの時代において、今後5年間、どのような教育を行い、どのような力を育てていくのか、学校関係者だけでなく、保護者をはじめ市民の皆様と共有し、ともに神戸の教育を進めていくため、新たに教育ビジョンを策定しました。

自他を大切にし、多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を育むとともに、子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動する、未来の創り手となるよう、教育の充実に取り組みます。

3 基本政策

教育ビジョン「自他を大切に 自ら考え 未来をつくる」の具体的な展開に向けて、5つの基本政策を定めます。また、基本政策を推進するため、今後、5年間において特に重点的に取り組む施策を示します。個々の事業については、各年度の状況を踏まえ実施していきます。

基本政策 1 / 子供が主役のこれからの学び

主体的・対話的で深い学びや体験活動等を通して、「生きる力」の基盤となる、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育み、子供たちの個性を生かし、よさを伸ばします。そのうえで、これからの時代において必要となる、問題発見・課題解決能力や創造力、コミュニケーション能力、ICTの適正な利活用による情報活用能力を育むとともに、異文化や多様な背景を持つ人々への理解を深めます。

<重点施策>

- ・ 自他を尊重し、命を大切に作る心の育成
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ 社会とつながる探究的な学びの充実
- ・ 英語の実践的なコミュニケーション能力向上及び異文化等の理解
- ・ 主体的に運動やスポーツに親しむ機会の拡充
- ・ 体験学習や芸術文化活動の充実
- ・ 想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進
- ・ 神戸ならではの防災教育の推進
- ・ AI等の技術や情報を適正に活用する力の育成
- ・ 全日制高等学校の特色化・魅力化と定時制教育の充実
- ・ 幼児教育の充実と幼保小の円滑な学びの接続

基本政策 2 / 一人ひとりに応じたきめ細かな支援

いじめや不登校、特別な支援を要する児童生徒等が増加する中、子供たちが生き生きと学校生活を送れるよう、「行きたくなる学校づくり」を進めます。

また、多様な教育ニーズに対してきめ細かな支援を行うことで、誰一人取り残されない学びを保障し、子供たち一人ひとりの可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を推進します。

<重点施策>

- ・ 多様な学びの場の確保等による一人ひとりに応じた不登校支援の充実
- ・ いじめ未然防止学習の推進
- ・ 組織的な対応によるいじめの早期発見・対応
- ・ 障害に応じた特別支援教育の充実

- ・外国人児童生徒に対する支援の拡充
- ・専門人材や関係機関との連携の強化
- ・児童生徒・保護者向けの分かりやすい教育相談窓口の充実

基本政策3 / 安全・安心で過ごしやすい環境づくり

子供たちが学びたくなる教育環境を整えるとともに、様々な背景を持つ子供を含め、誰もが安全・安心で快適な学校生活を送ることができる環境づくりを推進します。

また、子供たちの学習能力・情報活用能力の向上のため、オンライン学習等を進める基盤となる ICT 学習環境の更なる充実を図ります。

<重点施策>

- ・自律心や自己肯定感を育む子供が主体の学校づくりの推進
- ・学校給食の魅力化と食育の推進
- ・学校施設の安全・安心確保と機能向上
- ・ICT 学習環境の充実と教育データの利活用に向けた環境づくり
- ・学校規模の適正化による教育環境の向上
- ・通学路の安全対策の推進

基本政策4 / 子供に向き合い寄り添える学校づくり

教職員が心身ともに健康で生き生きとした姿で子供たちと向き合い、一人ひとりに寄り添える教育環境をつくり、真に必要な教育活動に力を注いでいけるよう、実効性のある働き方改革を推進します。

また、学校の組織力の更なる向上を図ることで教育全体の質を高め、子供たちの健やかな成長に繋がります。

<重点施策>

- ・教員の積極的採用と優秀な人材の確保
- ・学校園の組織力を高める適材適所の人事配置の推進
- ・教職員の資質向上とキャリア形成
- ・教職員のメンタルヘルス対策の充実
- ・学校の業務と活動の見つめ直し等による働き方改革の推進
- ・校務 DX の推進や外部人材の活用
- ・学年（チーム）担任制の推進

基本政策 5 / 地域とともにつくる開かれた学校

保護者や地域、企業等との積極的な連携により、一体となって子供たちの学びの充実や教育課題の解決を図るとともに、学校施設は市民の貴重な財産であり、地域活動等の拠点であるという認識のもと、地域とともにつくる開かれた学校を実現します。

また、市長部局と連携しながら、一人ひとりが生涯にわたって学べる環境をつくるとともに、神戸の教育について効果的に情報発信し、「選ばれるまち」を目指します。

<重点施策>

- ・ コミュニティ・スクール^{*}の推進による地域との連携・協力活動の活性化
- ・ スポーツ・芸術文化・市民福祉活動等の推進に向けた学校施設の更なる有効活用
- ・ 企業・団体・地域等との連携・協働による多様な学びの提供
- ・ 中学校部活動の地域移行
- ・ 社会教育施設等を活用した豊かな学びの充実
- ・ 市長部局や大学等との連携による放課後の子供の居場所づくり
- ・ 神戸の教育の効果的な情報発信

【参考】学校づくりの指針「人がつながり ともに創る みんなの学校」について

これからの時代において、複雑化・多様化する教育課題に適切に対応し、一人ひとりの子供に寄り添った質の高い教育を提供するためには、学校、保護者、地域の皆様、それぞれが多様な知識や経験を持ち寄り、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていく必要があります。

本市では、学校づくりの指針として「人がつながり ともに創る みんなの学校」を定め、子供たちを中心に据えて、保護者、地域の皆様と連帯感をもって教育活動に取り組む学校づくりを進めています。

本計画においても、学校づくりの指針のもと、人と人とのつながりの輪の中で子供たちの生きる力を育んでいくよう、取組みをさらに推進していきます。

※コミュニティ・スクール：学校運営協議会を設置し、保護者や地域との連携・協力活動を推進する仕組み。

III 計画の進捗管理

本計画においては、以下の指標を参考指標として設定し、適時、効果を把握するとともに、状況の変化に応じて、柔軟に施策の見直しを図り、計画を推進していきます。

■全国学力・学習状況調査（基本政策 1 関連）

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童生徒の割合
- ・「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合
- ・授業の内容がよくわかると思う児童生徒の割合
- ・読書が好きな児童生徒の割合
- ・各教科の平均正答率

■英語教育の実施状況調査（基本政策 1 関連）

- ・中学校卒業段階で CEFR*の A1 レベル相当の英語力を有する生徒の割合

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査（基本政策 1 関連）

- ・運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合
- ・体力合計点の平均値
- ・実技調査項目の平均値

■防災教育に関する実態調査（基本政策 1、5 関連）

- ・地域と連携した防災教育の取組等の状況

■ICT 機器の活用度調査（基本政策 1～3 関連）

- ・授業での PC・タブレットなど ICT 機器の活用度

■特別支援教育の推進（基本政策 2、3 関連）

- ・自校通級指導教室の設置
- ・特別支援教育の専門的知識を有する教職員の割合

■学校のルール等の見直し状況調査（基本政策 3 関連）

- ・学校のルール等の見直し状況、子供への意見聴取の状況

■働き方改革の推進（基本政策 4 関連）

- ・教職員の勤務時間外在校時間
- ・教職員の育児休業取得率

■コミュニティ・スクールの更なる推進（基本政策 5 関連）

- ・地域と保護者との連携・協力活動状況

*CEFR（セファール）：英語をはじめ外国語の運用能力を同一の基準で測る国際標準。

CEFR A1 レベルは英検 3 級相当。

【参考資料】児童生徒・保護者アンケート

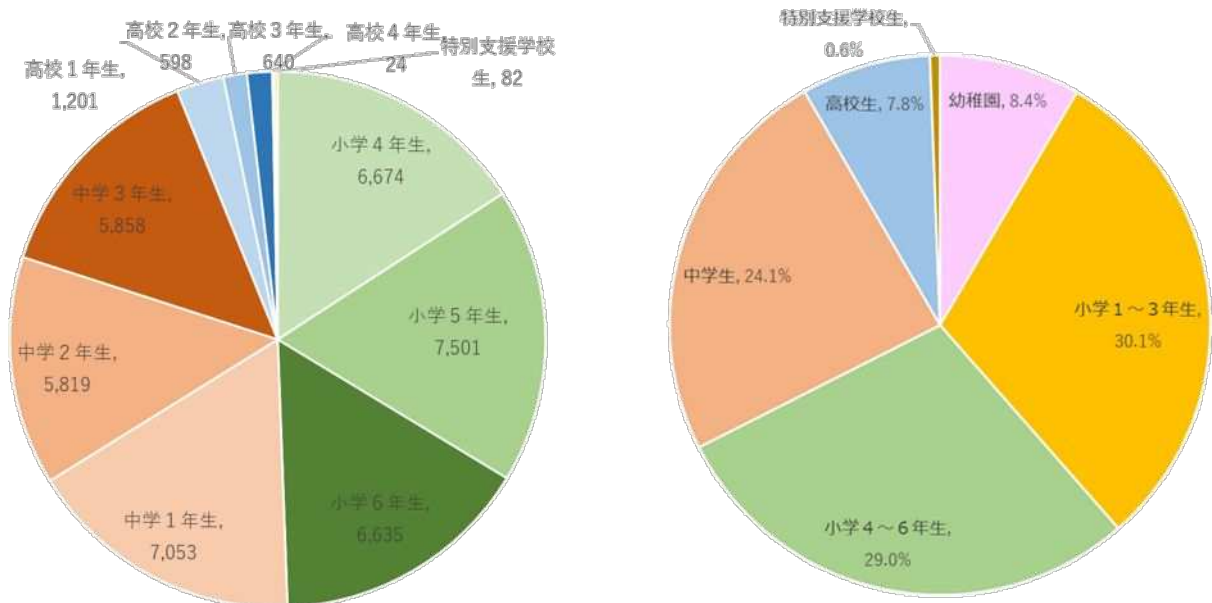
教育の当事者である子供たちや、保護者の皆様の多様な意見を参考とするため、2023年11月にアンケートを実施し、大変多くの回答をいただきました。

■対象：神戸市立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校で学ぶ児童生徒（※小学4年生以上）、及び保護者

■実施期間：2023年11月1日～11月30日

■設問：1. 学年（選択）
2. 居住区（選択）
3. 学校にのぞむこと、期待すること（※16項目から3項目を選択）
4. 3でなぜその項目を選んだか、または学校や教育をよくするためのアイデアなど（※自由記述）

■回答数：児童生徒 42,114名、保護者 26,017名

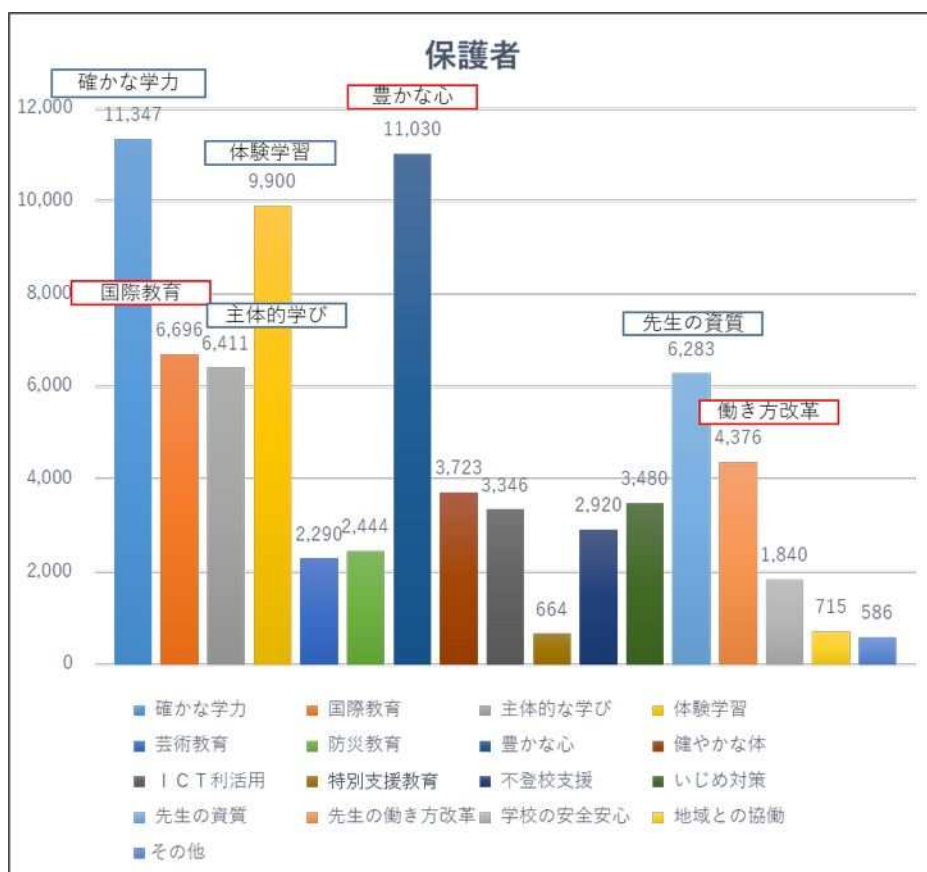
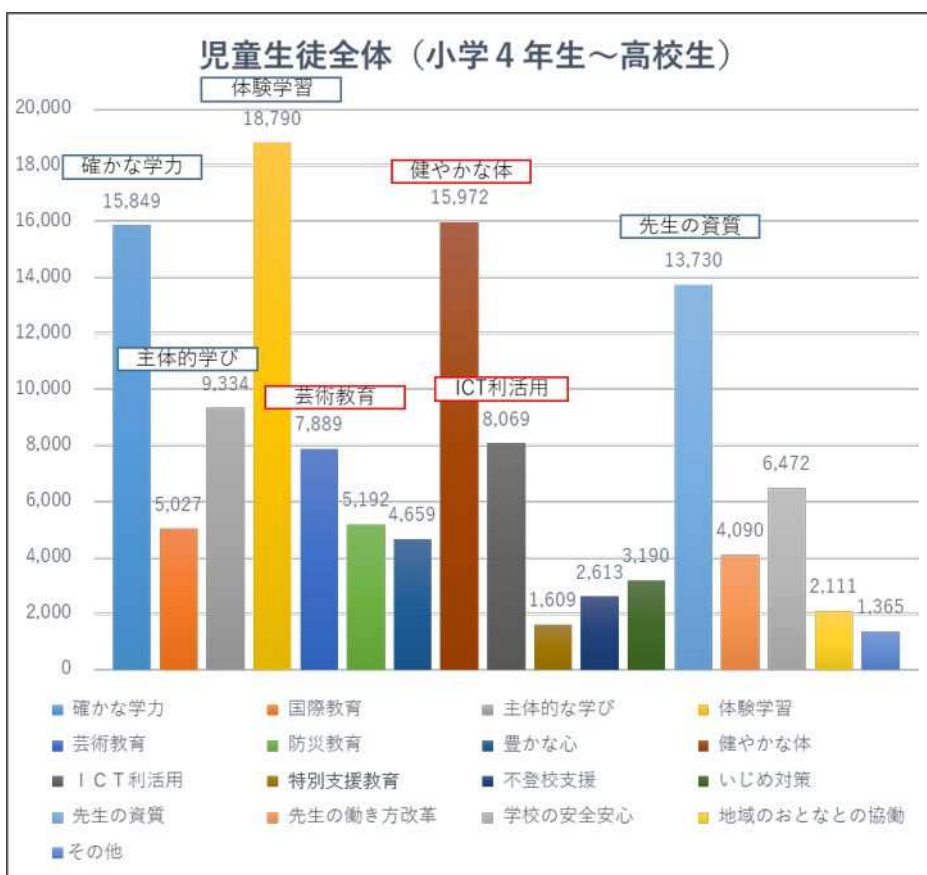


※複数の子供がいる保護者もあるため、割合で示しています。
兄弟姉妹が市立学校園以外に在籍している場合も含まれます。

■学校種別の回答率

学校種別	小学4～6年生	中学生	高校生	特別支援学校生
回答率	57.4%	55.3%	43.0%	7.6%

■「学校にのぞむこと、期待すること」の上位7項目



【参考資料】 これからの神戸の学校教育に関する有識者会議

本計画の策定にあたって、学識経験者や有識者、保護者、地域関係者の参画による「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」を開催し、それぞれの立場から幅広いご意見をいただきました。

■委員名簿

(敬称略、50音順)

井川 一裕	教育監理役、弁護士
岡本 勝利	神戸市自治会連絡協議会会長
川上 泰彦	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科（教職大学院）教授
北原 香奈	舞多聞小学校 学校運営協議会委員
齋藤 勝洋	神戸市PTA協議会会長
佐古 秀一	教育監理役、鳴門教育大学長
末永 訓隆	向洋中学校 学校運営協議会会長
前田 恵	井吹の丘小学校 学校運営協議会委員
森田 祐子	神戸市婦人団体協議会副会長
和田 孫博	教育監理役、学校法人灘育英会理事・灘中学校灘高等学校参与

■会議の開催経過

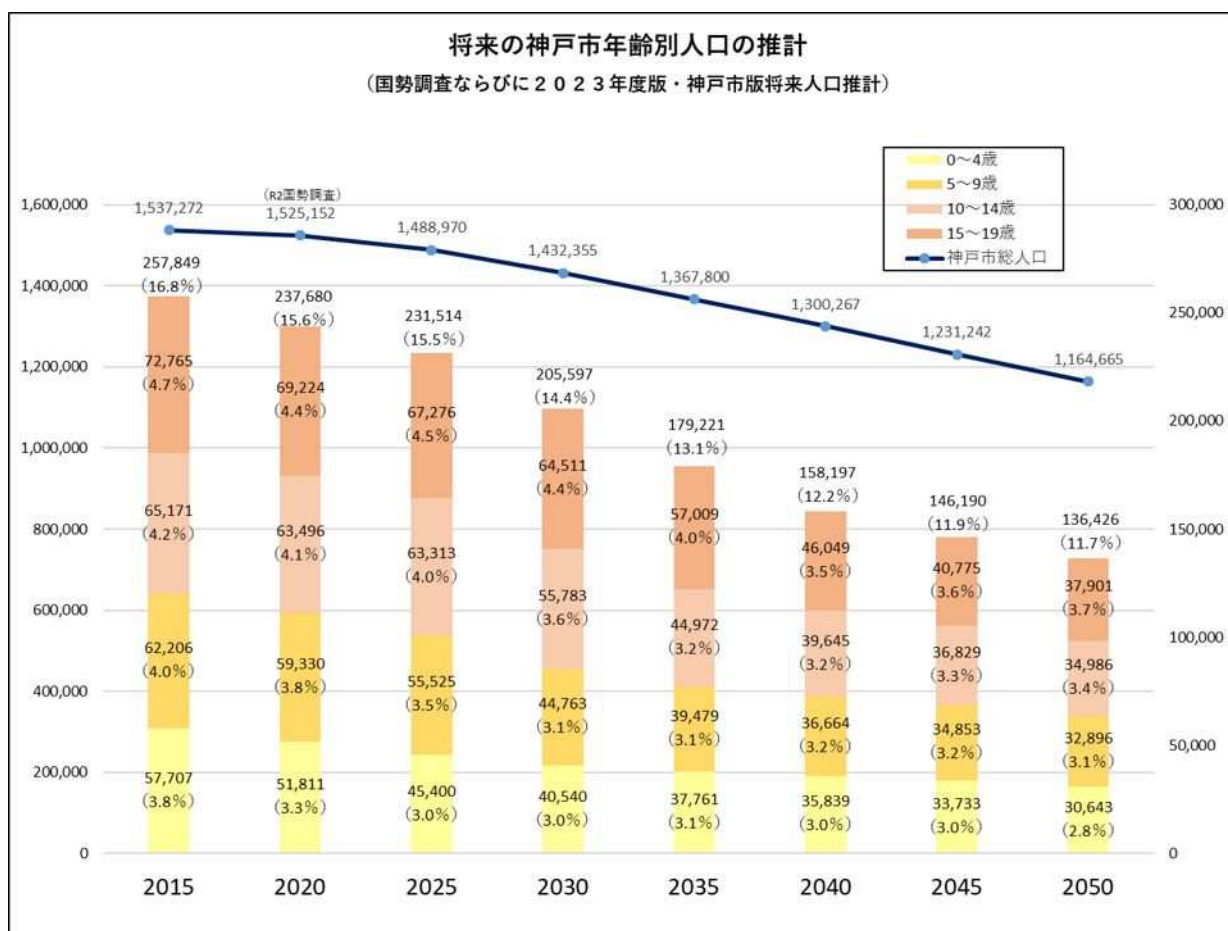
	開催日	主な議事
第1回	2023年11月14日	第4期神戸市教育振興基本計画策定の方向性について
第2回	2023年12月25日	教育ビジョン、基本政策等について
第3回	2024年3月7日	第4期神戸市教育振興基本計画（案）について

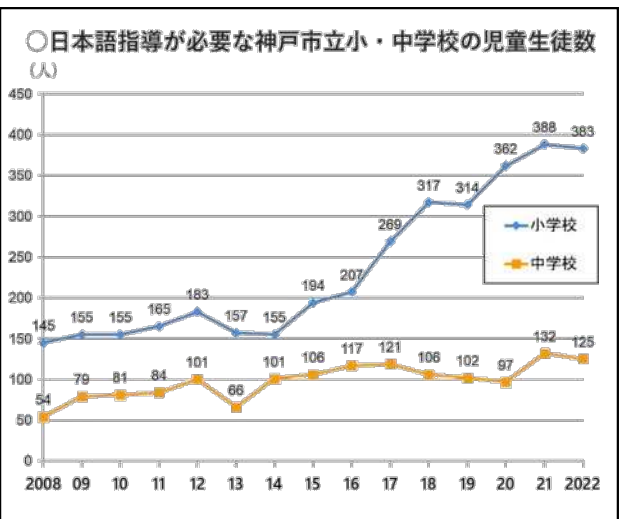
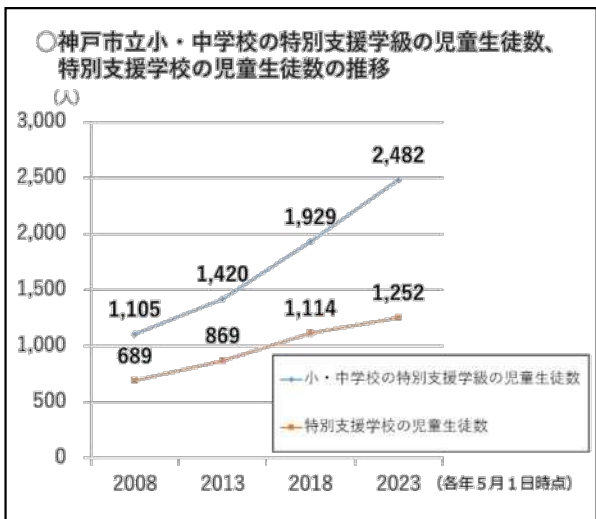
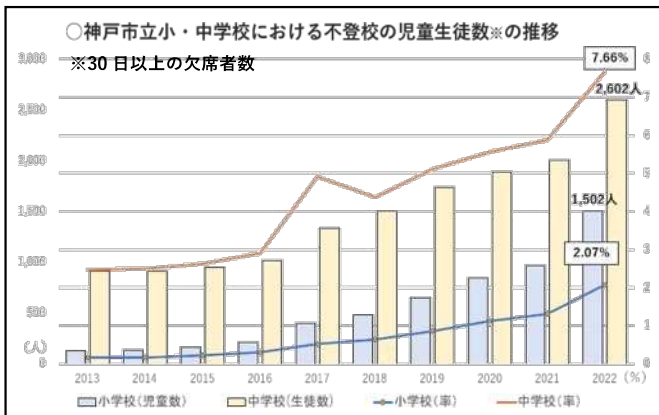
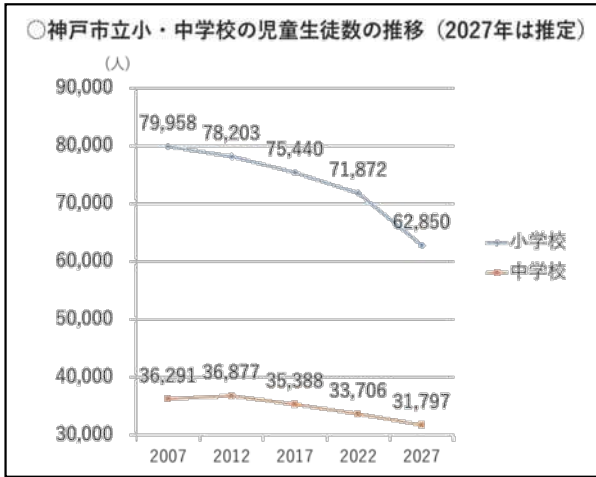
【参考資料】関連データ

【神戸市立の学校数、児童生徒数等、教員数、教員以外の常勤職員数】

2023年5月1日時点

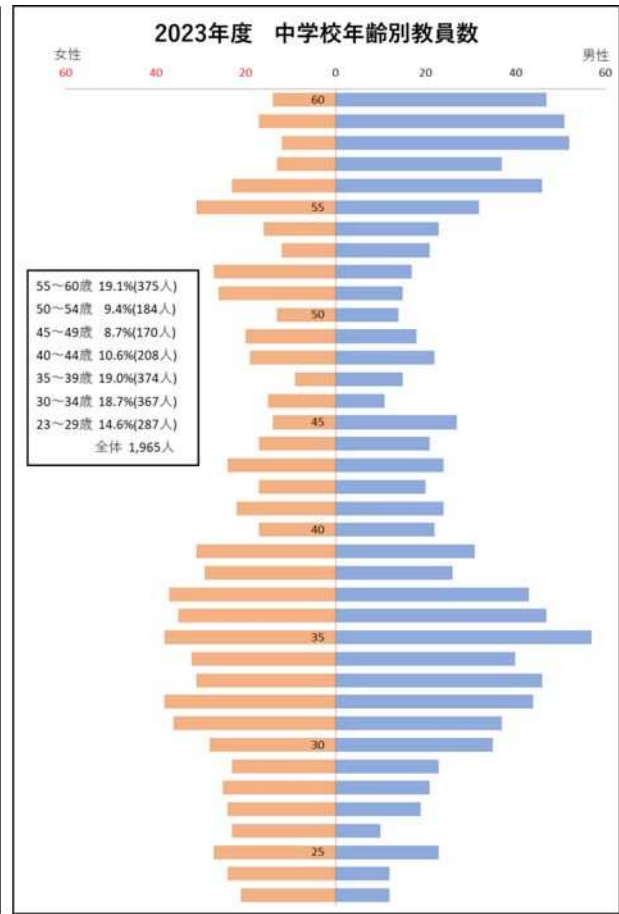
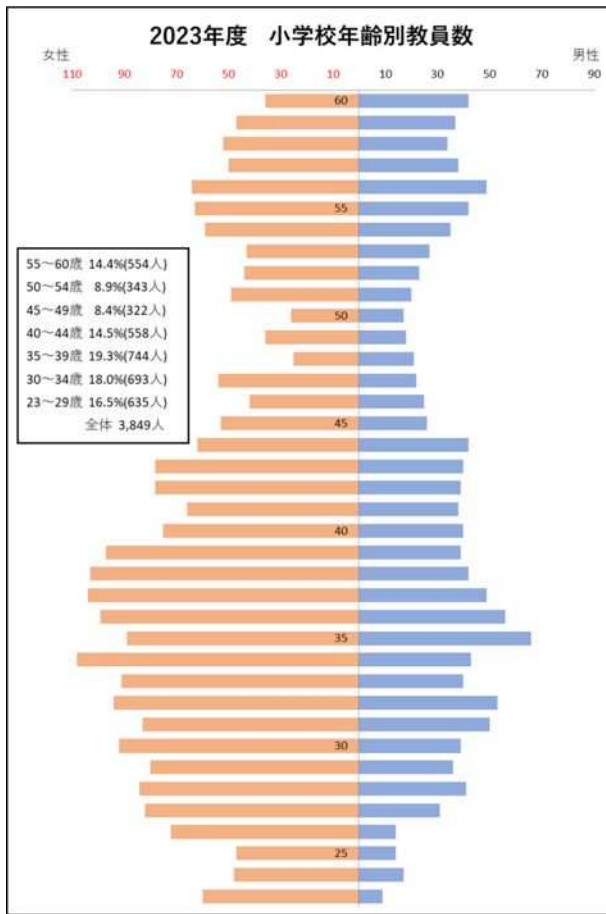
区分	学校数			児童生徒数等			教員数									教員以外の常勤職員数		
	計	本校	分校	計	男	女	計	常勤			非常勤			計	男	女		
								小計	男	女	小計	男	女					
合計	293	289	4	112,918	58,035	54,883	9,698	8,439	3,558	4,881	1,259	526	733	909	425	484		
幼稚園	32	32		1,023	528	495	222	213	9	204	9	3	6	1	1	0		
小学校	162	161	1	70,370	36,115	34,255	5,153	4,439	1,544	2,895	714	227	487	591	276	315		
中学校	83	80	3	33,632	17,174	16,458	2,683	2,359	1,316	1,043	324	174	150	171	86	85		
義務教育学校	2	2		914	484	430	122	87	34	53	35	16	19	10	2	8		
高校(全日制)	5	5		4,951	2,446	2,505	529	451	298	153	78	50	28	36	14	22		
高校(定時制)	3	3		776	467	309	185	116	88	28	69	45	24	11	8	3		
特別支援学校	6	6		1,252	821	431	804	774	269	505	30	11	19	89	38	51		





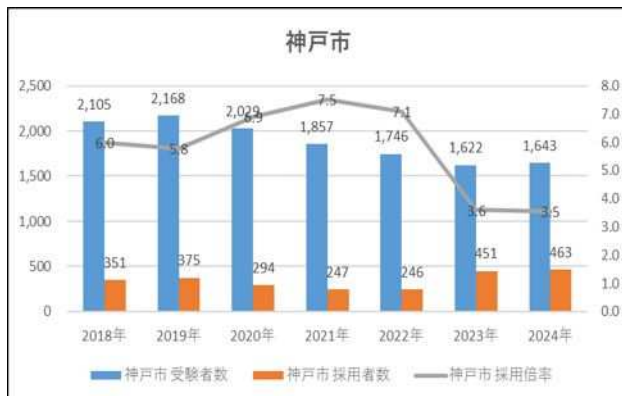
【神戸市立小学校・中学校の年齢別教員数※】

2023年4月1日時点



※臨時的任用教員を除く常勤の教員

【教員採用試験の受験者数・採用者数・採用倍率の推移】



これからの神戸の学校教育に関するアンケート

1. アンケート概要
- 2 - 1. アンケート内容（一部抜粋）及び回答者数
- 2 - 1. 高校生の回答
- 2 - 2. 高校生の子どもだけをもつ保護者の回答



1. アンケート概要

目的：第4期神戸市教育振興基本計画の策定に際し、児童生徒や保護者の皆様の意見を参考とするため。

対象：神戸市立の学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校）で学ぶ児童生徒（小学4年生以上）及びその保護者
68,131人

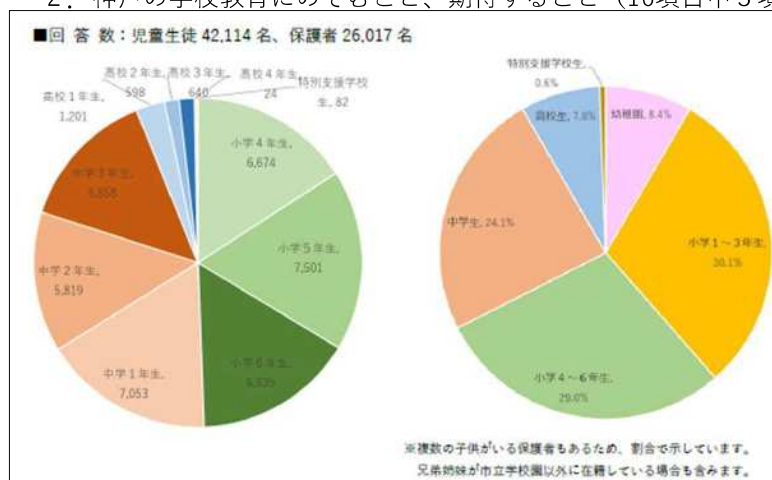
時期：2023年11月1日～30日



2-1. アンケート内容及び回答者数

○アンケート内容（一部抜粋）

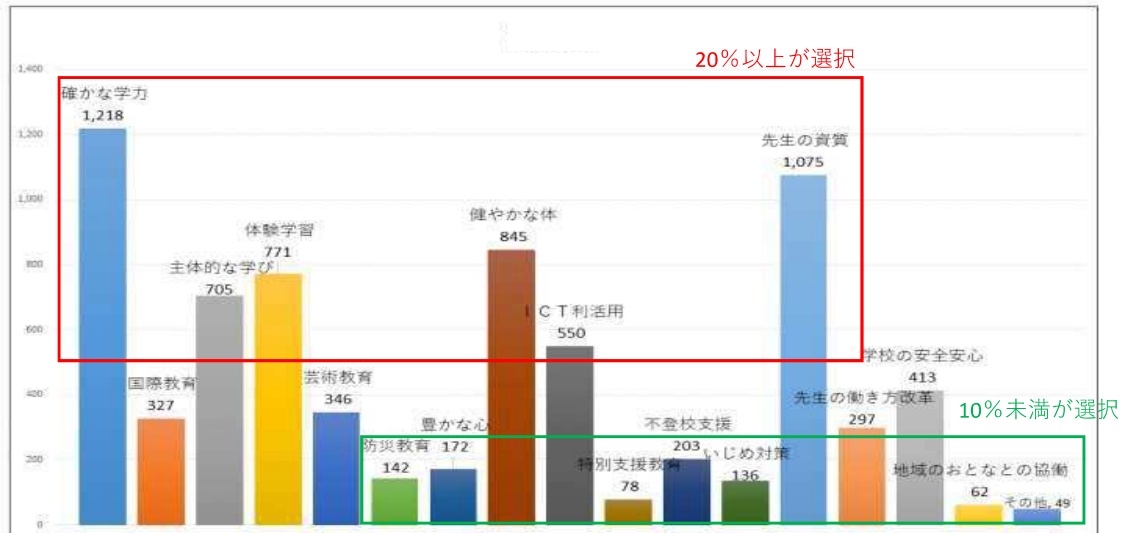
1. 学年等
2. 神戸の学校教育にのぞむこと、期待すること（16項目中3項目を選択）



(引用：神戸市HP「これからの神戸の学校教育に関するアンケート結果」)

2-2. 高校生の回答

回答者2,463名（16項目中3項目を選択）



(引用：神戸市HP「これからの神戸の学校教育に関するアンケート結果」)

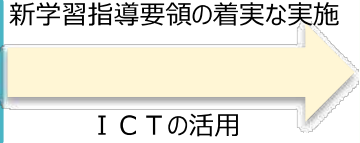
「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)【概要】

第I部 総論

令和3年1月26日
中央教育審議会

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」



一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

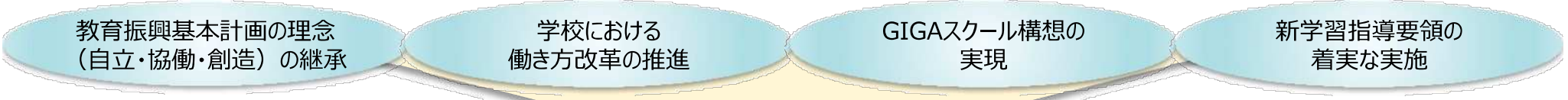
2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

成果

- 学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、諸外国から高い評価
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国的に学校の臨時休業措置が取られたことにより再認識された学校の役割
 - ①学習機会と学力の保障 ②全人的な発達・成長の保障 ③身体的、精神的な健康の保障（安全・安心につながる可以保证の居場所・セーフティネット）

課題

- 子供たちの意欲・関心・学習習慣等や、高い意欲や能力をもった教師やそれを支える職員の力により成果を挙げる一方、変化する社会の中で以下の課題に直面
- 本来であれば家庭や地域でなすべきことまでが学校に委ねられることになり、結果として学校及び教師が担うべき業務の範囲が拡大され、その負担が増大
 - 子供たちの多様化（特別支援教育を受ける児童生徒や外国人児童生徒等の増加、貧困、いじめの重大事態や不登校児童生徒数の増加等）
 - 生徒の学習意欲の低下
 - 教師の長時間勤務による疲弊や教員採用倍率の低下、教師不足の深刻化
 - 学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であるなど、加速度的に進展する情報化への対応の遅れ
 - 少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性
 - 新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立、今後起こり得る新たな感染症への備えとしての教室環境や指導体制等の整備



必要な改革を躊躇なく進めることで、従来の日本型学校教育を発展させ、「令和の日本型学校教育」を実現

3. 新時代に対応した高等学校教育等の在り方について

(1) 基本的な考え方

- 高等学校には様々な背景を持つ生徒が在籍していることから、生徒の多様な能力・適性、興味・関心等に応じた学びを実現することが必要
- 高等学校における教育活動を、高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するためのものへと転換
- 社会経済の変化や令和4年度から実施される新しい高等学校学習指導要領を踏まえた高等学校の在り方の検討が必要
- 生徒が高等学校在学中に主権者の1人としての自覚を深めていく学びが求められていることを踏まえ、学びに向かう力の育成やキャリア教育の充実を図ることが必要
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を通じて再認識された高等学校の役割や価値を踏まえ、遠隔・オンラインと対面・オフラインの最適な組み合わせを検討

(2) 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化

- ① **各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化（スクール・ミッションの再定義）**
 - 各設置者は、各学校の存在意義や期待される社会的役割、目指すべき学校像を明確化する形で再定義
- ② **各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針の策定（スクール・ポリシーの策定）**
 - 各学校はスクール・ミッションに基づき、「育成を目指す資質・能力に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受入れに関する方針」の3つの方針（スクール・ポリシー）を策定・公表
 - 教育課程や個々の授業、入学者選抜等について組織的かつ計画的な実施とともに不断の改善が必要
- ③ **「普通教育を主とする学科」の弾力化・大綱化（普通科改革）**
 - 「普通教育を主とする学科」を置く各高等学校が、各設置者の判断により、学際的な学びに重点的に取り組む学科、地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科等を設置可能とする制度的措置
 - 新たな学科における教育課程においては、学校設定教科・科目や総合的な探究の時間を各年次にわたって体系的に開設、国内外の関係機関との連携・協働体制の構築、コーディネーターの配置
- ④ **産業界と一体となって地域産業界を支える革新的職業人材の育成（専門学科改革）**
 - 地域の産官学が一体となり将来の地域産業界の在り方を検討、専門高校段階での人材育成の在り方を整理、それに基づく教育課程の開発・実践、教師の資質・能力の向上と施設・整備の充実
 - 高等教育機関等と連携した先取り履修等の取組推進、3年間に限らない教育課程や高等教育機関等と連携した一貫した教育課程の開発・実施の検討
- ⑤ **新しい時代にこそ求められる総合学科における学びの推進**
 - 多様な開設科目という特徴を生かした教育活動を展開するため、教科・科目等とのつながりや2年次以降の学びとの接続を意識したカリキュラム・マネジメント、ICTの活用を伴った各高等学校のネットワーク化による他校の科目履修を単位認定する仕組みの活用、外部人材や地域資源の活用の推進
- ⑥ **高等教育機関や地域社会等の関係機関と連携・協働した高度な学びの提供**
 - 特色・魅力ある教育活動のため、地域社会や高等教育機関等の関係機関との連携・協働が必要
 - 各学校や地域の実情に応じ、コンソーシアムという形も含めて関係機関との連携・協働をコーディネートする体制を構築
 - 複数の高等学校が連携・協働して高度かつ多様なプログラムを開発・共有し、全国の高校生がこうした学習プログラムに参加することを可能とする取り組みの促進

(3) 定時制・通信制課程における多様な学習ニーズへの対応と質保証

- ① **専門スタッフの充実や関係機関との連携強化、ICTの効果的な活用等によるきめ細やかな指導・支援**
 - SC・SSW等の専門スタッフの充実や関係機関等との連携促進
 - 多様な学習ニーズに応じたICTを効果的に利活用した指導・評価方法の在り方等の検討
- ② **高等学校通信教育の質保証**
 - 通信教育実施計画の作成義務化、面接指導等実施施設の教育環境の基準や少人数による面接指導を基幹とすべきことの明確化、教育活動等に関する情報公開の義務化等による質保証の徹底

(4) STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成

- STEAMのAの範囲を芸術、文化のみならず、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で定義し推進することが重要
- 文理の枠を超えて教科等横断的な視点に立って進めることが重要
- 小中学校での教科等横断的な学習や探究的な学習等を充実
- 高等学校においては総合的な探究の時間や理数探究を中心としてSTEAM教育に取り組むとともに、教科等横断的な視点で教育課程を編成し、地域や関係機関と連携・協働しつつ、生徒や地域の実態にあつた探究学習を充実

(5) 高等専修学校の機能強化

- 国による教育カリキュラムの開発、地域・企業等との連携を通じた教育体制の構築支援、好事例の収集・分析・周知

市立高校の育てたい生徒像

ーグラデュエーション・ポリシーー（各校HPより）

六甲アイランド	<ul style="list-style-type: none"> ・自彊（じきょう）の人：豊かな個性・感性を生かし、高い思考力をもとに自立して行動できる生徒 ・和敬（わけい）の人：社会・地域と積極的に関わる中で、他者・異文化に対する理解を深め、共に生きることのできる生徒 ・剛毅（ごうき）の人：強い意志と体力で、自らの進路や社会の未来を切り拓くことのできる生徒
科学技術	<ul style="list-style-type: none"> ・未来志向型エンジニア <ul style="list-style-type: none"> ①専門的知識と確かな技術の習得 ②豊かな人間性 ③地域産業を担う人材
葺合	<ul style="list-style-type: none"> ・Neo MAKsを身に付けた葺高生 Neo：未来に向かう力 Mind：知性と結びついた心 Attitude：社会貢献の姿勢 Knowledge：豊かな知識 Skills：学びの活用
神港橘	<p>以下の資質・能力を身につけた生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自律した生活を営む力（Management） ・情報処理に関する知識・技能（Information） ・マーケティングに関する知識・技能（Research） ・簿記・会計に関する知識・技能（Account） ・新しい発想で考える力（Innovation）
須磨翔風	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や地域で強い意志を持って中心的な役割や活躍ができる生徒 ①確かな進路目標を持ち、その実現に努力する生徒 ②豊かな知性と実践力を持つ生徒 ③社会に参画し、貢献する生徒 ④人とのつながりを大切にする生徒

【アンケートの趣旨】

この調査結果は、市立高校における教育活動の現状を把握し、市立高校における教育内容の改善等のために活用します。ご協力よろしくお願いします。

1. 勤務校を選択してください（勤務校をプルダウンから選択）
2. 年齢を選択してください（年代をプルダウンから選択）

【勤務校の教育活動に関すること（回答者個人ではなく、学校としての取組に対して）】

3. あなたの勤務校で、特に力を入れているものを選択してください。（3つまで）
 1. 国際に関する教育
 2. 多様性を深く理解する教育
 3. 地域とのつながりを重視した教育
 4. 教科横断的な教育
 5. ＊神戸に関する教育
 6. キャリア教育※「神戸の観光地に関する探究活動」など神戸に関する教育の全般を指します。

【生徒が身につける力】

4. 将来一層必要になると思うものを選択してください。（3つまで）
 1. 多くの情報からどれが正しいかを判断する力
 2. 言葉で自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする力
 3. 論理的に考えて問題を解決する力
 4. 仲間と協働して目標を達成する力
 5. 失敗を恐れず、挑戦し続ける意欲
 6. 固定観念にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力
 7. 異なる文化や価値観に対する理解
 8. 他者の気持ちを理解しようとする姿勢
 9. 地球規模で物事を考え、行動できる力
 10. 豊富な知識とそれを活かす力
5. 在籍校で身につくと思うものを選択してください。（3つまで）
 1. 多くの情報からどれが正しいかを判断する力
 2. 言葉で自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする力
 3. 論理的に考えて問題を解決する力
 4. 仲間と協働して目標を達成する力
 5. 失敗を恐れず、挑戦し続ける意欲
 6. 固定観念にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力

7. 異なる文化や価値観に対する理解
8. 他者の気持ちを理解しようとする姿勢
9. 地球規模で物事を考え、行動できる力
10. 豊富な知識とそれを活かす力

【その他（回答者個人の取組に対して）】

6. あなた自身は、教育活動を行うにあたり、スクールポリシーを意識していますか。
 1. 大いに意識している
 2. 意識している
 3. あまり意識していない
 4. まったく意識していない

7. 神戸市立高校の役割として最も求められていると思うものを選択してください。
 1. 市民のニーズや時代背景に合わせた多様な高校教育の機会の提供
 2. 地元産業界を中心に地域で活躍する優れた人材の輩出
 3. 県立高校や私立高校にはない学科・コースによる特色ある教育の提供
 4. 生徒一人ひとりの自己実現を支援するためのきめ細やかなキャリア教育の提供
 5. 国際都市神戸に相応しい、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成

8. 【任意】神戸市立高校が提供すべき「神戸ならではの特色ある教育」として何を思い浮かべますか。以下の例のように簡潔に記入してください。（30字程度まで）
例）小中学校で学習したことを踏まえた、より実践的な防災教育（27字）
市内企業や大学等との連携による実践的なキャリア教育（25字）

※個人は特定されず、データとしてのみ利用します。

【アンケートの趣旨】

このアンケートは、高校生の社会参画に対する意識や高校生活に対するニーズ等を調査するものです。この調査結果は、市立高校における教育活動の改善等のために活用します。ご協力よろしくお願いいたします。

1. 学校名・学科等を選択してください（学校名・学科等をプルダウンから選択）
2. 学年を選択してください（学年をプルダウンから選択）

【在籍校を選択した理由】

3. 在籍校を志望した理由を選択してください（3つまで）
 1. 自宅から近いから・通いやすいから
 2. 特色ある取組を行っているなど、授業内容に興味があったから
 3. 他校よりも入学の難易度が高いから
 4. 学校の雰囲気がよかったから
 5. 中学校の先生にすすめられたから
 6. 塾・家庭教師の先生にすすめられたから
 7. 親・親せきにすすめられたから
 8. 授業についていけそうだったから
 9. 将来就きたい仕事と関連しているから
 10. 卒業後の大学等への進学に有利だから
 11. 卒業後の就職に有利だから
 12. 友人が希望していたから
 13. 入部したい部活動があったから
 14. 自分の学力で合格できそうだったから
 15. その他（ ）

8は2, 3年生のみ回答

【在籍校に対する意識】

4. 学校の勉強は社会に出てから役に立つと思いますか。
 1. とてもそう思う
 2. まあそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. まったくそう思わない
5. 中学生に在籍校の魅力を伝えるとしたら、何を伝えますか。（簡潔に書いてください。[100字程度まで]）
6. 【任意】在籍校をよりよくするために提案したいことはありますか。（学習に関すること、学校生活に関することなど、簡潔に書いてください。[100字程度まで]）

【自分自身に関すること】

7. 社会に出てから一層必要になると思うものを選択してください。(3つまで)

1. 多くの情報からどれが正しいかを判断する力
2. 言葉で自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする力
3. 論理的に考えて問題を解決する力
4. 仲間と協働して目標を達成する力
5. 失敗を恐れず、挑戦し続ける意欲
6. 固定観念にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力
7. 異なる文化や価値観に対する理解
8. 他者の気持ちを理解しようとする姿勢
9. 地球規模で物事を考え、行動できる力
10. 豊富な知識とそれを活かす力

8. 在籍校で身につくと思うものを選択してください。(3つまで)

※2, 3年対象

1. 多くの情報からどれが正しいかを判断する力
2. 言葉で自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする力
3. 論理的に考えて問題を解決する力
4. 仲間と協働して目標を達成する力
5. 失敗を恐れず、挑戦し続ける意欲
6. 固定観念にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力
7. 異なる文化や価値観に対する理解
8. 他者の気持ちを理解しようとする姿勢
9. 地球規模で物事を考え、行動できる力
10. 豊富な知識とそれを活かす力

9. あなたは探究（課題研究等）に興味・関心がありますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. とてもある | 2. ある |
| 3. あまりない | 4. まったくない |

10. 9で「1. とてもある」「2. ある」と回答した人にお聞きします。

最も興味・関心のあるテーマを選択してください。

- | | | | | | |
|----------|----------|-----------|-------------|-----------|------------|
| 1. 国際理解 | 2. 情報 | 3. 環境 | 4. 福祉 | 5. 健康 | 6. 資源エネルギー |
| 7. 安全 | 8. 食 | 9. 科学技術 | 10. まちづくり | 12. 文化・芸術 | |
| 13. 地域経済 | 14. 災害対策 | 15. ものづくり | 16. 観光 | 17. 生命 | 18. 職業 |
| 19. 働き方 | 20. 教育 | 21. スポーツ | 22. その他 () | | |

【社会参画意識】

11. 20年後、どんな世の中であってほしいですか。(20字程度まで、キーワード可)

12. 11のような世の中にするために、あなた自身が役に立てると思いますか。
1. とてもそう思う
 2. まあそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. まったくそう思わない

13. 社会の出来事について、家族や友人など周りの人とよく話をしますか。
1. とてもする
 2. よくする
 3. あまりしない
 4. まったくしない

【神戸の魅力】

14. 神戸のまちに魅力（住みたい・働きたい）を感じますか。

1. とても感じる
2. まあ感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

15. 14で「1. とても感じる」「2. まあ感じる」と回答した人にお聞きします。
何に最も魅力を感じますか。

1. 山と海に囲まれた美しい自然環境
2. 異人館や旧居留地など、歴史を感じさせる建物
3. 神戸ビーフや様々な国の料理
4. 国際会議やイベント及び異文化を学ぶ機会
5. ファッションや音楽のイベント
6. 各種学校や大学に加え、国際的な教育を受けられる環境
7. バスや鉄道（新幹線や在来線）、空路（神戸空港）、海路（フェリー）等便利な交通手段
8. 安全安心で住みやすい環境
9. 神戸港や六甲山、北野異人館街などの観光スポット
10. 美しい都市や豊かな文化に対する誇り
11. ファッションや医療などの産業
12. 個性的で魅力的な人々
13. その他（ ）

※個人は特定されず、データとしてのみ利用します。

【アンケートの趣旨】

このアンケートは、授業や社会参画に対する意識及び高校生活に対するニーズ等を調査するものです。同様の調査を神戸市立高校生にも実施しており、調査結果は市立高校における教育活動の改善等のために活用します。ご協力よろしくをお願いします。

【進学先を選択する理由】

1. 進学先を決定する際に特に重視するものを選択してください（3つまで）

1. 自宅から近いか・通いやすいか
2. 特色ある取組を行っているなど、授業内容に興味があるか
3. 他校よりも入学の難易度が高いか
4. 学校の雰囲気が良いか
5. 中学校の先生が勧めるか
6. 塾・家庭教師の先生が勧めるか
7. 親・親せきが勧めるか
8. 授業についていけそうか
9. 将来就きたい仕事と関連しているか
10. 卒業後の大学等への進学に有利か
11. 卒業後の就職に有利か
12. 友人が希望しているか
13. 入部したい部活動があるか
14. 自分の学力で合格できそうか
15. その他（ ）

【自分自身に関すること】

2. 社会に出てから一層必要になると思う能力を選択してください。（3つまで）

1. 多くの情報からどれが正しいかを判断する力
2. 言葉で自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする力
3. 論理的に考えて問題を解決する力
4. 仲間と協働して目標を達成する力
5. 失敗を恐れず、挑戦し続ける意欲
6. 固定観念にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力
7. 異なる文化や価値観に対する理解
8. 他者の気持ちを理解しようとする姿勢
9. 地球規模で物事を考え、行動できる力
10. 豊富な知識とそれを活かす力

3. 総合的な学習の時間等で行われる探究（課題研究等）に興味・関心がありますか。

- 1. とてもある
- 2. ある
- 3. あまりない
- 4. まったくない

4. 3で「1. とてもある」「2. ある」と回答した人にお聞きします。

最も興味・関心のあるテーマを選択してください。

- 1. 国際理解
- 2. 情報
- 3. 環境
- 4. 福祉
- 5. 健康
- 6. 資源エネルギー
- 7. 安全
- 8. 食
- 9. 科学技術
- 10. まちづくり
- 12. 文化・芸術
- 13. 地域経済
- 14. 災害対策
- 15. ものづくり
- 16. 観光
- 17. 生命
- 18. 職業
- 19. 働き方
- 20. 教育
- 21. スポーツ
- 22. その他（ ）

【社会参画意識】

5. 将来、より良い社会になるために自分自身が役に立てると思いますか。

- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. まったくそう思わない

6. 社会の出来事について、家族や友人など周りの人とよく話をしますか。

- 1. とてもする
- 2. よくする
- 3. あまりしない
- 4. まったくしない

※個人は特定されず、データとしてのみ利用します。